



島原翔南に出会って



先生と生徒の距離感



生徒・地域・家庭



過去・現在・そして未来へ



特集

翔南人に触る



島原翔南高校は、島原半島唯一の総合学科です。

自分の将来を考え、個性を育み、皆と切磋琢磨しながら夢実現に向かって日々充実した学校生活を送ります。

本校は総合学科の強みを生かし、個々に応じたきめ細かな教育活動を展開します。また少人数授業で生徒と教師の距離も近く、安心安全に過ごすことができます。

そんな「島原翔南高校な人々＝翔南人（しょうなんじん）」の声を聞いてみましょう。（令和6年6月取材）



東京大学

第二

期



生徒会長

多良 奏

## 島原翔南に出会って

第9代学長

川口由美子

## 翔南人に脈く

**多良**：翔南高校は人数が少ないですけど、でも人数が少ないからこそ、先生との距離が近いところが魅力ですね。今まで通学して思うのは、一人一人の「活躍の場」がしっかりあるところがいいなって思います。例えばその「活躍の場」っていうのは文化祭とか体育祭とか、学校行事の時に、人数が少ないからこそ仕事を持ってない人がなくて…、何かしら一つの係や仕事とか持っているから、そういうところで自分の今まで見えてなかった力が見えたりするのかな。

**校長**：例えば掃除の時間。玄関の掃除に二人来てくれるのだけど、本当に一生懸命掃除をしてくれる。だから多分いろんな場所でもそんな感じでやってくれているんだろうなって思います。

**多良**：校長先生は、翔南高校に初めて来られた時はどんな印象でしたか。

**校長**：そうですね。まず

ワクワクしましたね。ここに入った途端、何か明るいイメージがあった。だから「こんな素敵な学校に私を来させてくれてありがとう」という思いでした。そうそう、3月に来た時に誰かわからなかったけど「校長先生、4月からよろしくお願いします」って2階の窓から言ってくれて。すごくそれが嬉しかった。

私にとっては初校長としての1年目でもあって、本当にワクワクしながらここに来て今もワクワクした毎日を過ごしています。

私の理想は先生方も生徒の皆さんみんなを含めて、「一つの大家族のようになりたいな」って。実際、128人の家族ってないんだけど(笑)、でもそういう風になりたいなって思っています。

始業式の時に「ウェルビーイング」の話をしたと思うんですけど、「ウェルビーイング」というのは「継続的な幸せ」。「その時だけが幸せ」じゃなくて、ずっと幸せでいてもらいたいなって思う。

**校長**：多良さんはどんな生徒が翔南に向いていると感じていますか？

**多良**：翔南は総合学科でいろんなことが体験できるから、「まだ何も進路が決まっていない」とか、「やりたいことが分からない」という人でも、ここに来て自分の夢を見つけられると思います。だからまだ夢が見つからない人にはとってもいいと思いますね。

**校長**：そのために本校はキャリア教育を重視しているわけよね。だから、将来のことがあまり決まっていないからこそ、翔南に来てほしい。まず自分自身を見つめることから入るからね。「決まってない人、ぜひどうぞ」ですよ。

**校長**：翔南に入学して一番良かったことはどんなことですか？

**多良**：いろんな人と関わることですね。1年生の時の「産業社会と人間」の授業で自分の行きたい

ところを決めてフィールドワークに行って、外部の方と関わりを持つことができました。2年生ではインターンシップや企業研修旅行とか、外部の人と関わる機会も「総合学科だから多い」っていうのもあって、その分コミュニケーション力も高まると思います。

**多良**：校長先生は翔南のどんな所が好きですか？

**校長**：私はやっぱり生徒の笑顔！あれには本当に救われるというかね。本当に良いと思いますね。高校生の時期は多感な時期なので、いろんな悩みごととかそれぞれあるのだからなと思うんだけど、そんな中であっても、あいさつもよくしてくれる。それから、先生方が一生懸命生徒のことを考えて動いてくださっている。「そんな集団の中に私が今いる」っていうところに恵まれているなって思いますね。

## 先生と生徒の距離感

教諭  
川村 芙美子  
(担任)

3年生  
前田 匠吉

## 翔南人に訊く

**川村**：距離が近いということで何かエピソードがありますか。

**前田**：「たくさんありますよ」ってなりますよね（笑）。

**前田**：翔南は生徒もそんなに多くなくて、先生と喋る機会が多くて、中学校の時より先生と気軽に話せる感じはしてます。そして些細なことを相談しやすい。放課後とかすぐに相談のための時間を入れてくれたり…みたいな間柄。ちょっと友達といざこざがあっても気軽に相談できるかなとは思っています。

**川村**：例えば文化祭とか課題研究とかの発表会とか、(生徒の人数が)やっぱり少ないからこそ、「しっかりと(生徒を)見ていられるな」というのは、他の学校との違いを感じます。

**前田**：2年生からは一人だけの授業も多くて最初戸惑ったりするけど、

授業中の先生はちゃんと自分の今の実力に合わせてくれていて感じます。より一層、自分のことをしっかりと考えてくださっているのかなと思いますね。

**川村**：どんな中学生が翔南に向いていると思う？

**前田**：「何をしたらよいのか分からない」という人でも、選択授業がたくさんあるし、工芸(陶芸)とかボルダリングとか中国語、韓国語とか、普段やらないことも専門的に学べるので、きっと自分の楽しみを見つけられると思います。文化祭、体育祭以外にも翔南フェスとかオープンスクールも自分たちでやっているし、「いろんな活動を通してちょっと自分を成長させたいな」、「ちょっと頑張ってみたいな」と言う中学生が来てくれたら嬉しかなって思います。

**川村**：私も生徒目線で同じように成長していきたいなと思っていて…。ほ

んと仰々しくなくて、先生たちも生徒も一緒に学校行事はもちろん、学校自体を作っている学校だなと。

**川村**：卒業までまだ少しあるけど、これまで一番印象に残った出来事ってありますか？

**前田**：1年生の時の文化祭は文化委員としてカラオケ大会の司会に自発的に名乗り出たりして自分からどんどん入ってやりたいイベント事をたくさんできました。結構楽しかったです。2年生の時は吹奏楽部の活動ですね。他校にゲストで文化祭に出たりしました。川村先生はどうですか？

**川村**：今のところ一番心に残っているのは、同学年の先生が年度末に異動(転勤)される時。離任式後に生徒たちがイチからお別れ会を企画実行したことです。こちらからは特に「お別れ会をしないなさい」とも言わなかった。離任式数日前に突然

「時間を作ってください」って生徒たちから言ってきて…進行とか内容とかも自分たちで決めて…。しっかりと感謝が伝えられるっていうのは、すごく成長を感じた時間でした。

**前田**：先生たちに気づかれないように、放課後に企画の練習を何回かやりました（笑）

**川村**：先日たまたま学校の周辺を歩いていた時に前田君とその仲間たち数人と偶然出会ったんですよ。するとすごく遠くから手を振ってくれたり…。愛を感じます。なので、だからこそ私は頑張ろうかなって思います。翔南は生徒と日々の生活や行事を一緒に作っていく中で、生徒のがんばりや成長、悲喜こもごもを近くで実感できることが素敵です。これを読んでいる中学生の皆さん、もし入学されたら、先生たちとの距離感は近いので、どんどん話してもらいたくなって思います。



生徒・地域・家庭

育友会会長 濱松啓介

教諭（育友会担当） 山田香菜

## 翔南人に脈く

**山田：**いつも島原翔南高校育友会活動にご尽力いただき、ありがとうございます。本校の生徒と接する機会も多いと思いますが、どのような印象を持たれていますか？

**濱松：**明るく素直で、元気が良い。そして気持ちの良い挨拶をしてくれるという印象ですね。生徒数は決して多くはありませんが、一人ひとりがいくつもの役割を担い、一生懸命取り組んでいると感じています。

**山田：**島原翔南高校育友会の自慢ポイントは何かですか？

**濱松：**保護者同士の仲が良いこと、生徒と距離が近いこと、そして学校（教職員の先生方）や地域と親密なことだと思います。例えば、昨年度は南島原市社会福祉協議会にご協力いただき、「ポッチャ大会」を開催しました。保護者だけではなく、生徒や先生方も参加してくれ、一緒に楽しむことができました。また、数年ぶりにマラソン大会の炊き出しも実施することができ、子

どもたちのことを楽しく（時には真剣に）話しながら、賑やかに豚汁を作りました。美味しそうに食べる子どもたちの顔を見ることができて、とても幸せな気持ちになりました。私は中学校時代、大人しい性格だったのですが、この役を通じて当時の恩師に出会ったとき、「お前が一番変わった」と言われ嬉しかったです。

**山田：**え！濱松さん、大人しい性格だったんですか？あまり想像できません（笑）

**濱松：**そうでしょうか？（笑）あまりしゃべらなかつたし、2ヶ月くらいですが学校に行けなくなった時期もありました。何かきっかけがあったわけではありませんが、ある時に「学校行こうかな」という気持ちになり、そこから色々な人と出会う中で少しずつ変わっていったという感じです。育友会活動に積極的に取り組んでいるのは、もちろん子どもたちのために何かしたいという思いが第一ですが、中学校時代の学校行けなかつ

た時間を取り戻したいという気持ちがあるからかもしれません。

**山田：**なるほどー。「色々な人と出会う中で少しずつ変わっていった」という言葉が特に印象に残りました。翔南生もたくさんの人と出会って、素敵なお大人になってほしいですね。

**山田：**育友会活動をするうえで、心がけていらっしゃることは何かですか？

**濱松：**まずは、私たち大人が全力で楽しむことです。子どもたちは、大人を見ています。大人が仲良く楽しそうにしていれば、子どもたちも仲良くなると僕は思っています。時には意見が食い違うこともあるかもしれませんが、その状況から逃げずに互いの話をしっかり聞いて話し合えば、きっと解決するはずですよ。それが絆を深めることにもつながると思います。そして、「笑顔」でいること。育友会の目標（スローガン）として「笑顔の花を咲かせよう」を掲げ

ていますが、周囲の大人たちが笑顔で過ごし、温かいまなざしで見守ること。それが、子どもたちの成長には欠かせないと思っています。

**山田：**だから濱松さんは、いつも笑顔なんですね。私も心がけたいと思います。

**山田：**最後に、翔南生にはどのようなになってほしいと考えていますか？

**濱松：**人を思いやる気持ちがあれば、それだけで十分。（先に話した内容と重なりますが、）喧嘩をしても、相手のことを思いやって話し合い、仲直りすること。これからの厳しい時代を生き抜いていくためには、その力が必要だと思います。島原翔南高校でたくさんのご経験を、思いやりのある人になってほしいです。

**山田：**温かいメッセージですね。本日は、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

卒業生

本多奈々子



過去・現在・そして未来へ

教諭  
(当時の担任)

溝上丹保子



## 翔南人に脈く

**溝上**：島原翔南高校で学んだことは何？

**本多**：コミュニケーション能力です。中学生のころは、人前に出ていくタイプではなかったのですが、島原翔南高校に入学してみると、人数の少なさから、「私がやらなきゃ！」という気持ち芽生えてきました。そのことで、いろんな場面で人と積極的に話をしたり、グループをまとめたりするリーダーシップの力が身についたんじゃないかな、と思っています。

**溝上**：中学生の頃ってそんな感じだったの？

**本多**：はい。高校ではバスケットボール部のキャプテンをしていましたが、中学生のころは、そんなことはまったくしたことも、考えたこともなかったですね。

バスケットボール部では3年生のころが一番大変でした。顧問の先生も変わり、後輩を率いる立

場になり、今まで以上に、部員と積極的にコミュニケーションをとることで、チームをまとめていきました。特に高校総体前は、遅くまで残って、3年生でミーティングを重ねて少しでもよりよいチームになるよう試行錯誤した記憶があります。

**溝上**：3年生同士でも、いろんな事があったよね

**本多**：そうですね。意見の食い違いや方向性の違いなどで衝突することもありました。

**溝上**：でも最後の高校総体は立派な試合でしたね。

**本多**：1回戦で負けてしまったんですが、やりきったという思いは強く、よい思い出となっています。

**溝上**：今の仕事で島原翔南高校での学びは生きていますか？

**本多**：3年生の時、課題研究の授業で「空き家バ

ンク」について研究し、空き家の再利用について実践的な取り組みと発表を行いました。

実は今、私は雲仙市の職員として、「空き家バンク」の仕事もしています。

**溝上**：すごいじゃない！

**本多**：「空き家バンク」を見て「空き家を見たい(購入したい)」という方へのサポートをしているところです。高校の時のあの研究がなかったら、一から勉強しなくてはならなかったけど、今回その仕事をする上で、スムーズに仕事に入ることができ、先輩方もしっかりと協働できています。

**溝上**：後輩へのメッセージをお願いします。

**本多**：えー！？後輩っ？私がアドバイスすることあるかな(笑)

…後輩のみんなには部活動なども積極的に楽しみながら全力で高校生活をがんばってほしいと

思っています。

進路については、3年生になってようやく決めることができたけど、決めることが遅かったかな…と後悔しています。もっともっと早くから進路について真剣に考えて早く希望を決めることが大切だと思いますね。

中学生に対して…島原翔南高校の一番の魅力は「少人数」であること。私が受講した授業は3人授業が多かったのですが、挙手することなく常に先生や生徒と意見交換や、質問などをする環境ができていました。この雰囲気は翔南だからこそだと思いますね。

体育祭でも誰かが必ず大きな役割を与えられるので、責任感が身に付きますね。

**溝上**：高校生活がんばりたい！と思っている人にこそ、島原翔南高校を選んでほしいですね。

**本多**：そう思います。



## 事務室より

毎月の経費

4,250 円 + 9,900 円 (授業料) 14,150 円

詳細は、文部科学省サイト「高等学校等就学支援金制度」をご覧ください。

入学式当日に納入が必要な学校諸費

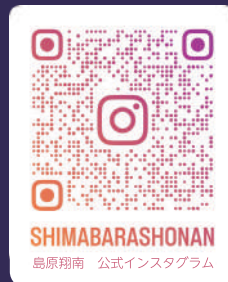
27,700 円

【内訳】 高等学校入学手数料 5,500 円  
学校諸費 22,220 円

PTA 会費、教育振興費、生徒会費 ほか

## もっと詳しく知りたい

いつでもどこでも最新情報があなたのスマホに。島原翔南Instagram・ベーシックインフォメーション



SHIMABARASHONAN  
島原翔南 公式Instagram



島原翔南ベーシック  
インフォメーション  
特設ページへ

- ・総合学科とは
- ・キャリア教育とは
- ・通級による学びとは
- ・部活動、学校生活
- ・進路状況

## 長崎県立島原翔南高等学校

島原翔南高校に関する質問は随時受け付けます。お気軽にご相談ください。

住所：〒859-2212 南島原市西有家町須川 810

電話：0957-82-2216( 事 ), 82-2285( 職 ) FAX：82-2216( 事 ), 82-2285( 職 )



公式サイト